



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

必要性と価値が、ビジネスの現実である。その対価が資本であり、企業経営はこれにおいて成り立つのである。

これら必要性への参加が、価値を与え、価値は対価を生む。それが企業行動である。

それら現実がマーケティングと販売を有し、企業サイクルが形成される。

これらは倫理的判断を顧客との関係において求め、これらが健全な商習慣を与え現実を可能とする。

企業は、その企業経営においてキャッシュフローの健全性を基盤として企業の可能性という新しい現実への参加を得る。

市場の変化は、企業がその正しい理解と行動において、自己構築を求められる。

これらは必要性が価値を生み、価値が資本的対価において判断されるものである。これが資本主義の原理原則である。

これらは競争原理と合理主義におけるビジネスルールを有し、グローバリゼーションはその価値観の共有を世界が行うことなのである。

価値の創造が、企業に未来を与えることができるのであり、知的進歩性はそれを飛躍的に拡大できるのである。

計画は、未来のそのものであり、行動はそのすべてを実現することができる。